

**[成果情報名]多収でいもち病に強く外観品質に優れる酒造好適米品種「夢山水」**

**[要約]** 水稻「夢山水」は早晩性が”中生の早”にあたる中間地向けの酒造好適米品種で、多収で、いもち病に強く、外観品質に優れ、心白の発現が良好である。

**[担当]** 総農セ・栽培部・作物特作科・上野直也

**[分類]** 技術・普及

---

**[課題の要請元]**

山梨県酒造組合、花き農水産課

**[背景・ねらい]**

山梨県の中間地向け酒造好適米水稻奨励品種「美山錦」は、醸造評価は高いものの栽培性が劣るため、2006年採用の「ひとごち」に置き換わりつつある。「ひとごち」は多収で栽培性に優れるため、2009年には15ha作付けられている。

「ひとごち」は豊醇な純米酒用として実需者の評価は高いが、一方では淡麗な、吟醸酒に向く品種も求められている。そこで、栽培性に優れ酒造特性が高い品種の選定を行い、酒造好適米の栽培と振興を図る。

**[成果の内容・特徴]**

- 1 「夢山水」は、愛知県山間農業研究所において「山田錦」を母とし、「中部44号」を父として交配・育成された品種で、2001年に品種登録された。
- 2 「夢山水」は「美山錦」「ひとごち」と比較し次の特性を持つ。
  - (1) 熟期は「美山錦」に比べ3日程度晩熟な、「中生の早」である(表1)。
  - (2) 稈長は「美山錦」よりもやや短く、耐倒伏性は「美山錦」よりもやや優れる。穂長は「美山錦」、「ひとごち」よりも長く、穂数はその両者の間で、「穂重型」である(表1)。
  - (3) 千粒重は「美山錦」よりも2g程度重い大粒で、多収である(表1)。
  - (4) 「美山錦」に比べいもち病に強く(表2)、育成地の評価は「やや強」で、*Pia*の真性抵抗性遺伝子型を持つ。
  - (5) 心白発現率が高く、外観品質に優れ、玄米タンパク質含有量は「美山錦」「ひとごち」と同程度に低い(表3)。「ひとごち」に比べ点状心白の比率が多い(データ略)。
  - (6) 仕込み後の吟醸酒の評価は高く、香りが華やかで軽快な味である(表4)。

**[成果の活用上の留意点]**

- 1 標高350~700mの中間地を対象に栽培する。
- 2 多肥栽培は玄米タンパク質含量を高め、酒造好適米としての品質を低下させるため避ける。
- 3 帯緑色籾率15%程度の適期に刈り取り、早刈りや刈り遅れによる品質低下がないようにする。
- 4 いもち病の抵抗性は「美山錦」よりは強いが、常発地では防除を徹底する。

**[期待される効果]**

- 1 営農組織において集団的に生産を行うことで、他品種との作業分散が図れるとともに、収益性の向上が見込まれる。
- 2 県産米を利用した日本酒を開発することにより、県独自のブランドが創出され、酒造実需者の活性化につながる。

## [具体的データ]

表1 栽培特性

試験場所 (試験年次)	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	玄米重 (kg/10a)	千粒重 (g)	倒伏 程度 (0-5)
本場 (2007-2009)	夢山水	8.09	9.18	89.6	21.5	299	522	26.5	1.0
	美山錦	8.04	9.15	94.7	20.6	291	454	24.5	1.8
	ひとごこち	8.07	9.16	80.1	20.4	309	489	27.5	0.3
岳麓試験地 (2007-2009)	夢山水	8.10	9.24	84.4	19.5	337	586	26.8	1.3
	美山錦	8.09	9.21	87.8	18.1	317	561	25.2	1.5
	ひとごこち	8.12	9.24	74.8	18.2	362	593	28.0	0.3
白州現地 (2007-2008)	夢山水	8.11	9.26	78.8	19.1	308	568	25.9	1.0
	ひとごこち	8.07	9.21	73.8	18.2	343	589	27.2	0.0
大月現地 (2008-2009)	夢山水	8.10	9.24	90.8	20.5	366	375	25.9	1.3
	美山錦	8.08	9.22	98.6	18.9	355	280	25.0	1.8

\* 各試験場所の標高：本場 315m、岳麓試験地 820m、白州現地 600m、大月現地 385m  
 \* 移植期：本場 6月1半旬、岳麓試験地・白州現地・大月現地 5月下旬  
 \* 倒伏程度：無-0、微-1、少-2、中-3、多-4、甚-5 の6段階評価  
 \* 施肥量(基肥+穂肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O kg/10a)：本場 5-5-5+2-0-2、岳麓試験地 8-8-8+2-0-2  
 白州・大月現地 現地慣行

表2 穂いもち発病程度

品種	発病初率(%)	被害度
夢山水	18.4	0.16
美山錦	51.3	0.70

\* 2008年大月現地試験、本田無防除  
 \* 被害度 = 穂首率 + 枝梗 1/3 以上率 × 0.66  
 + 枝梗 2/3 以上率 × 0.26  
 \* 調査穂数：100 穂

表3 玄米品質

試験場所 (試験年次)	品種名	心白発現率 (%)	外観 品質 (1-6)	玄米 タンパク質 (%)
本場 (2008-2009)	夢山水	57.6	2.3	6.2
	美山錦	34.5	4.0	6.5
	ひとごこち	68.0	2.7	6.3
岳麓試験地 (2008-2009)	夢山水	28.5	4.3	6.6
	美山錦	10.5	4.6	6.7
	ひとごこち	34.5	4.0	6.5

\* 栽培条件は表1参照  
 \* 外観品質は 1：特上、2：特等、3：1等  
 4：2等、5：3等、6：等外

表4 「夢山水」の酒質の評価

香り評価(%)	良い 70.8	やや良い 16.7	普通 12.5	感想：ソフト、優雅、華やか
味評価(%)	良い 65.2	やや良い 34.8	普通 0.0	感想：軽快、後味良い なめらか、フルーティー
総合評価(%)	すばらしい 39.1	良好 60.9	普通 0.0	

\* 県内醸造業者の仕込みによる  
 \* 醸造業者、生産者、自治体関係者等 計24名へのアンケートによる評価  
 \* 55%とう精による吟醸純米酒の評価

## [その他]

研究課題名：水稻品種の比較試験・酒造米および有色素米の栽培と利用に関する研究

予算区分：県単・理工研

研究期間：2007～2009年度

担当研究者：上野直也、石井利幸、外川高雄、大久保邦彦、古矢昌